

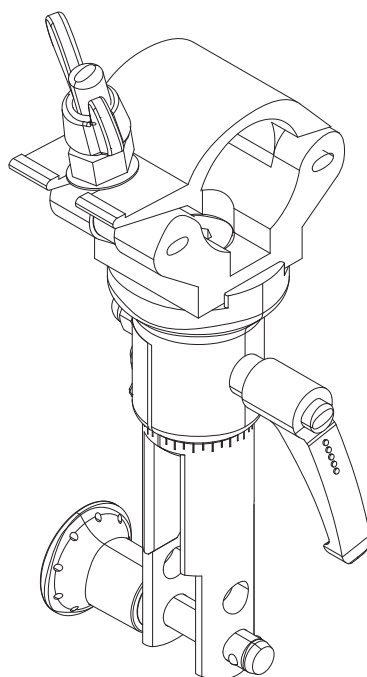
# CODA

C O D A A U D I O



## Vario Clamp

取扱説明書



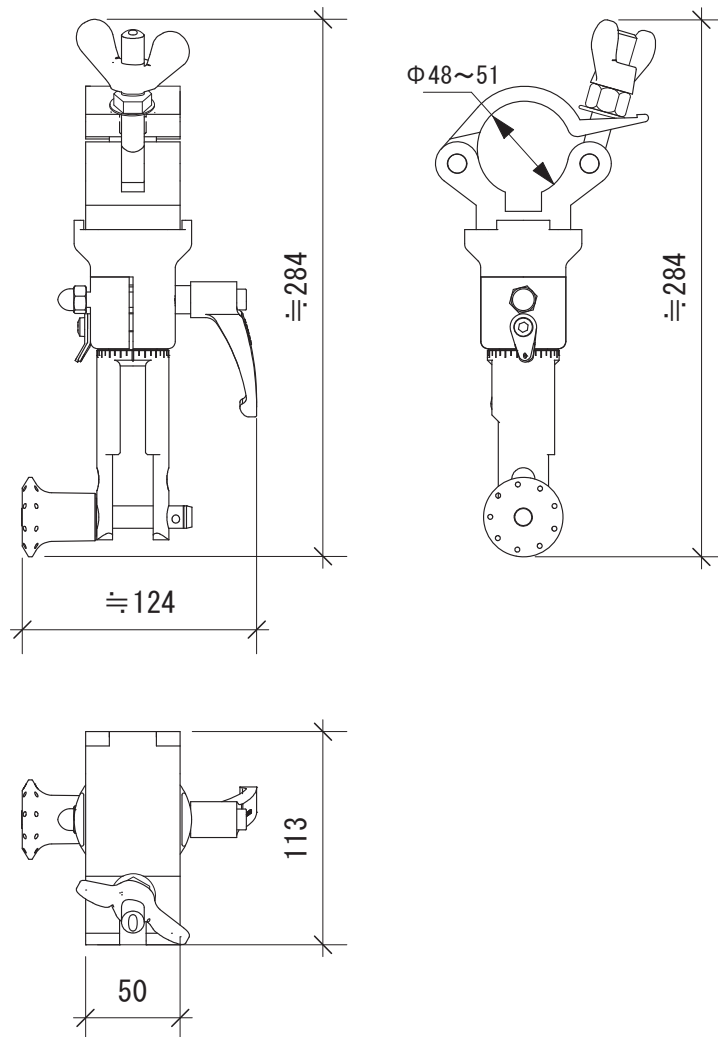
## 目次

1. 製品概要	3
2. 部品構成および重量	4
3. 用途	5
4. 安全上の注意	5
5. ハザード（危険要因）	5
6. 取付方法	6
7. 取扱方法	9

## 1. 製品概要

Vario Clamp は、AiRAY、CiRAY、ViRAY、N-RAY、TiRAY、APS、N-APS 各製品のフライングフレームおよびエクステンションバーの汎用トラスクランプです。

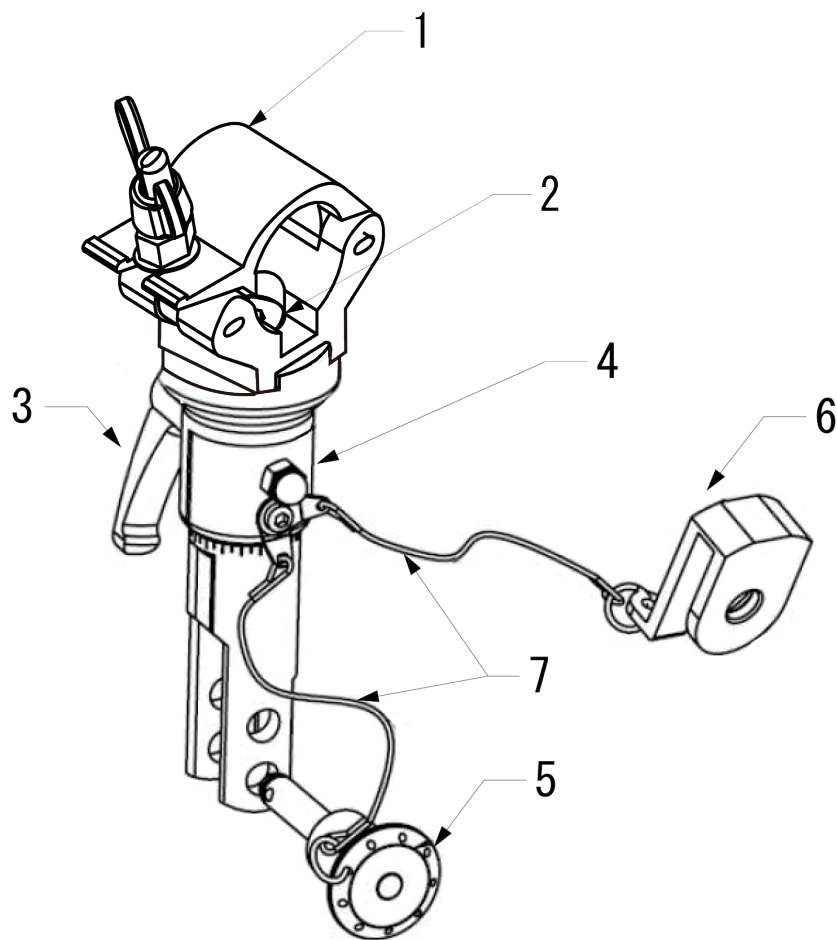
**⚠ 重要**      **許容荷重 (WLL) : 500kg**



(単位 : mm)

## 2. 部品構成および重量

Vario Clamp は以下の部品で構成されています（下表を参照）。



位置番号	数量	仕様	説明
1	1	WLL 500 kg	ハーフカプラー (Half Coupler)
2	1	DIN 7991-M12x40	M12 締結ナット付き接続ボルト (ハーフカプラーと Vario Clamp の間)
3	1	GN 604.1	調整可能なハンドルレバー (Adjustable Hand Levers)
4	1	Vario Clamp	Vario Clamp
5	1	GN 113.6	ピン 12x40 (PIN 12x40)
6	1	Adapter	アダプター (Adapter)
7	2	GN 111.2-B	保持ケーブル (Retaining Cables)

### 3. 用途

**▲注意** Vario Clamp は、WLL 500 kg の汎用トラスクランプとして、AiRAY、CiRAY、ViRAY、N-RAY、TiRAY、APS、N-APS 用アレイフレームおよびエクステンションバーにのみ使用してください。

ハーフカプラーは、パイプ径 Ø 48 ~ 51mm (2 インチ) に対応します。許容荷重は最大 500kg(1102lb) です。

**▲注意** 取付方法に記載されたハーフカプラーの最大許容荷重を厳守してください！

### 4. 安全上の注意

- 取り付けおよび調整は、各国の関係法令を遵守し、適切な資格および認可を受けた者が行ってください。
- Vario Clamp を取り付ける前に、金属製の構造物（フレームやトラスなど）が安定していること、固定するポイントが適切であり、Vario Clamp およびそれに取り付けるフレームやスピーカーの荷重に耐えられることを確認してください。
- Vario Clamp の使用に先立ち、組み立ておよび設置状態について、目視および機能に関する入念な点検を実施してください。
- Vario Clamp に故障または不良部品が認められる場合は、使用しないでください。
- すべての故障または不良部品は、確実に交換してください。

### 5. ハザード（危険要因）

**労働安全に関する法規を厳格に遵守してください。**

**▲注意** 重量物、またはそれを移動する作業、および吊り下げられた金属構造物（フレーム・パイプ・トラス等）からの落下に関する危険があります。

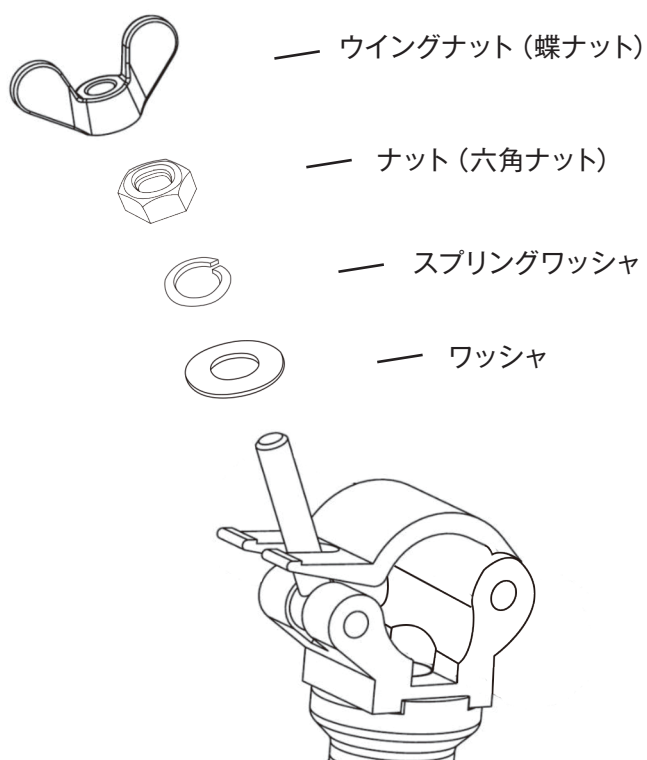
**▲注意** 金属構造物（フレーム・パイプ・トラス等）の移動作業、または構造物の倒壊に関する危険があります。

**▲注意** 重量物の落下や構造物の倒壊により、作業者が負傷する恐れがあります。

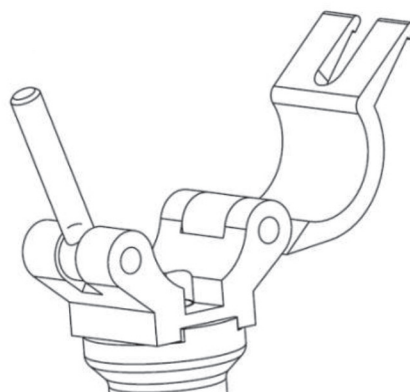
## 6. 取付方法

**▲注意** 水平方向または仰角（角度）方向の位置合わせを行う前に、他のすべての部品が適切に、かつ確実にロックされていることを確認してください。

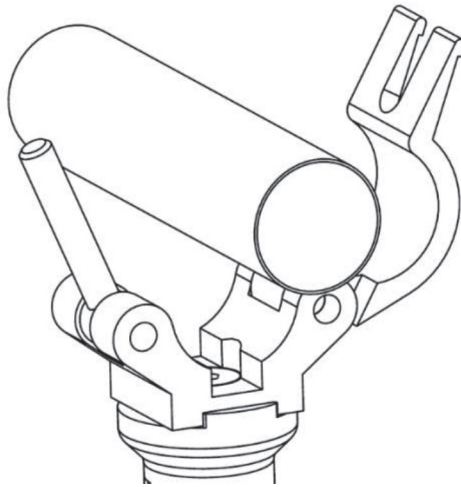
**ステップ 1:** ハーフカップラーを開くには、ウイングナット（蝶ナット）とナット（六角ナット）を十分に緩めるか、場合により取り外します。



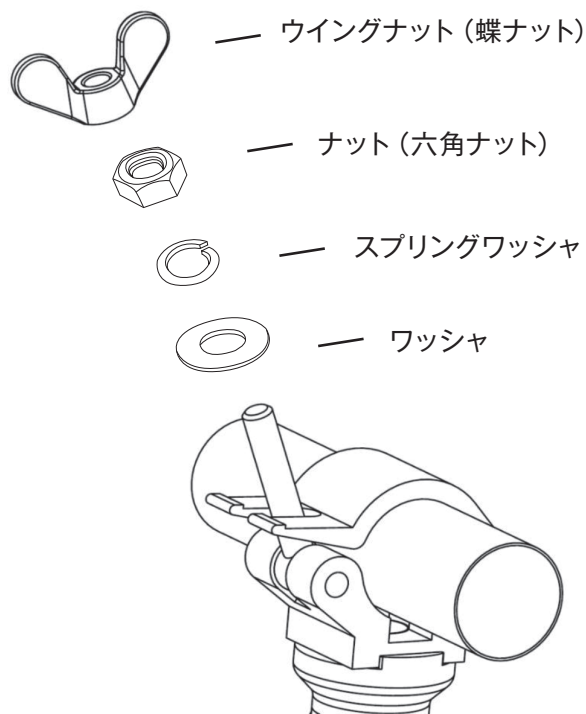
**ステップ 2:** ハーフカップラーを開きます。



**⚠ 注意** ハーフカプラーが開いた状態で、Vario Clamp を持ち上げ、設置対象の金属構造体（フレーム・パイプ・トラス等）に取り付けてください。



**ステップ 3:** 金属構造体（フレーム・パイプ・トラス等）を挟み込むようにハーフカプラーを閉じます。ナット類を外した場合は、ワッシャ⇒スプリングワッシャ⇒ナット⇒ウイングナットの順に取り付けてください。



**ステップ 4:** ナットとウイングナットを確実に締め付けてください。



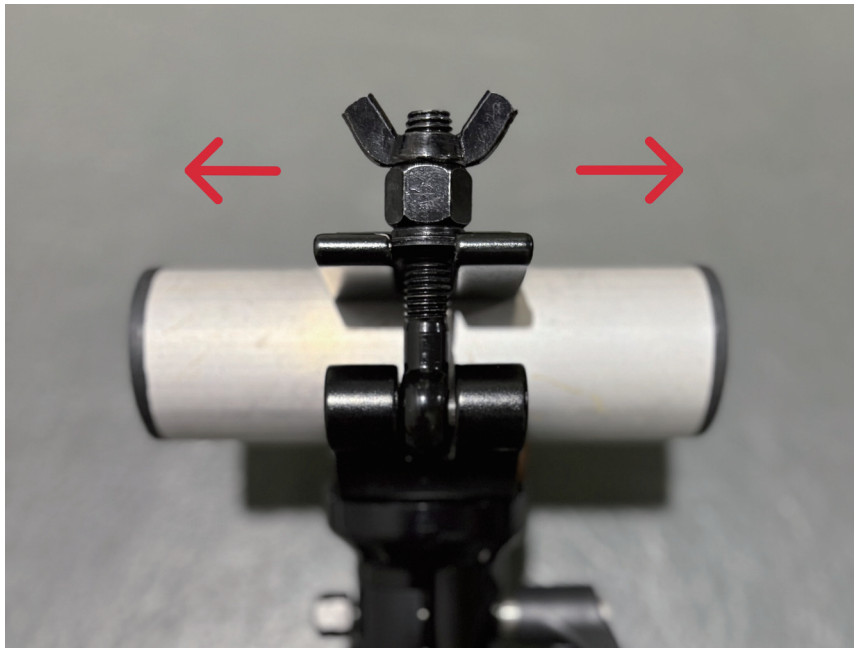
**▲ 注意** Vario Clamp が確実に固定され、安定していることを確認してください。十分に点検を行ってください。



## 7. 取扱方法

### 7.1. ハーフカップラーの水平方向の位置の調整。

1. Vario Clamp を正しい位置に調整するには、ウイングナットを少し緩めてください（完全に緩めないこと!）。その状態で、Vario Clamp を金属構造体（フレーム・パイプ・トラス等）上で水平方向に移動させます。



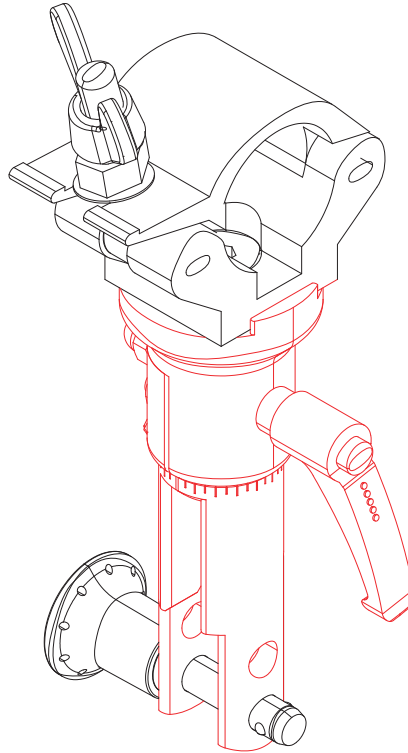
**⚠ 注意** Vario Clamp の水平方向の位置を調整する際は、作業中常に Vario Clamp を手で支えていてください。

Vario Clamp には荷重がかかっており、ウイングナットが完全に締まっていない状態では、金属構造体（フレーム・パイプ・トラス等）から重量物が落下する危険があります。

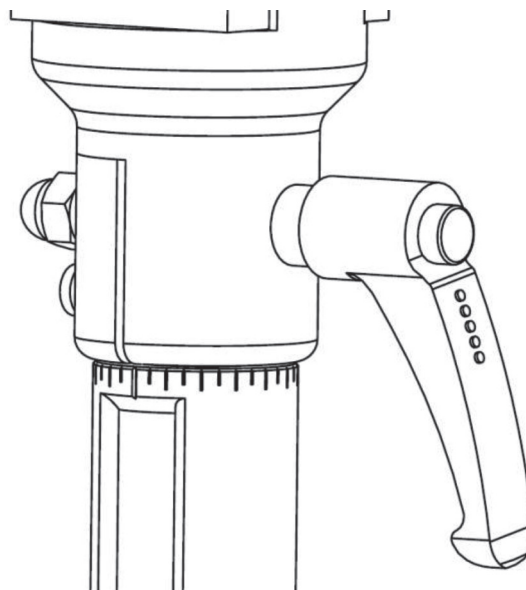
2. Vario Clamp を目的の位置に合わせたら、ウイングナットを締めてください。

## 7.2. 角度の調整

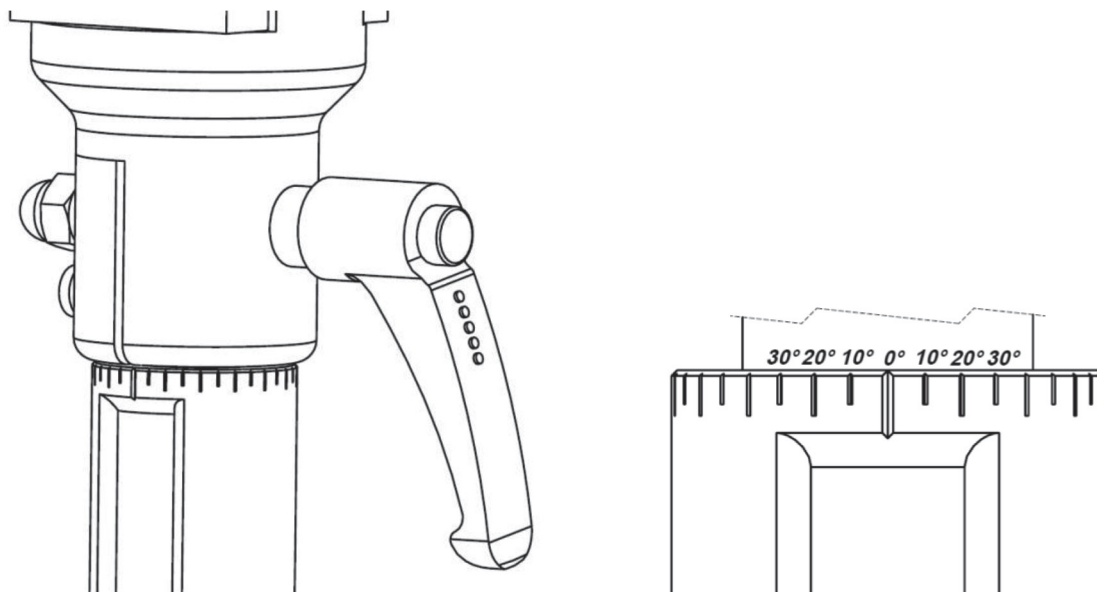
Vario Clamp には、左右両方向に 360° 回転可能なローテーティングモジュール（回転機構）が備えられています。角度の調整には、このローテーティングモジュールを使用してください。



1. Vario Clamp のローテーティングモジュール（回転機構）を緩めるには、ハンドルレバーを半時計方向に回してください。時計回りで締まります。中心部（ボタン）を押しながらハンドルレバーを引くと任意のポジションにハンドル位置を移動できます。



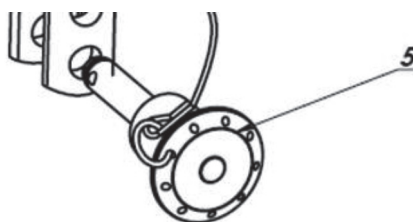
2. Vario Clamp のローテーティングモジュール（回転機構）を目的の角度に回転させてください。角度を調整する際は、目盛りを参照しながら左右に回転させます（目盛りは角度を示しており、1目盛りが10°に相当します）。



3. 角度を目的の位置に合わせたら、調整用ハンドルレバーを締めてローテーティングモジュール（回転機構）を固定してください、レバーは引くことで邪魔にならない位置に移動できます。

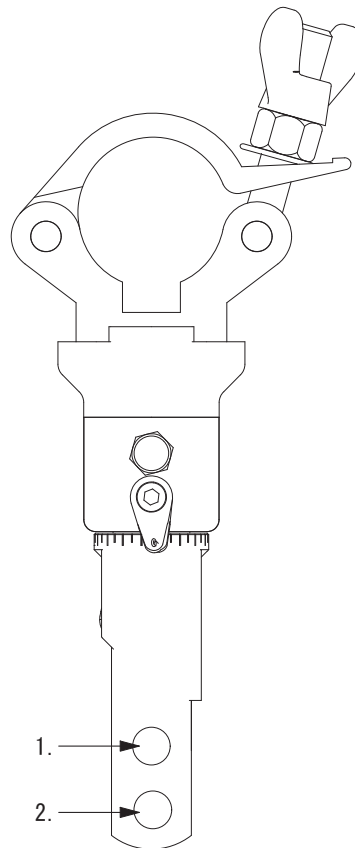
### 7.3. アッセンブリー（組立）

1. クイックリリースピンを使用して、Vario Clamp を CODA AUDIO 製品対応機種 of フライングフレームに取り付けてください。

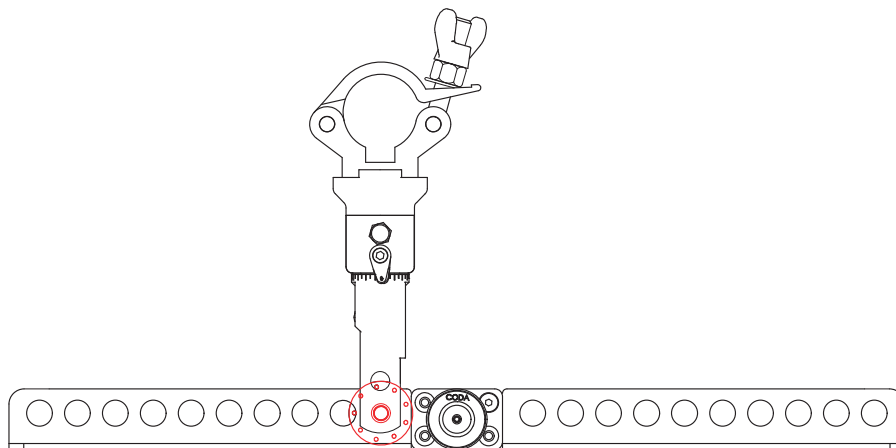


**▲ 注意** クイックリリースピンが所定の位置（ボールロックが抜け出る位置）まで確実に挿入された後、接続部がロックされている、すなわちボールロックが抜け出ていることを目視で確認してください。

Vario Clamp には、下図 1. と 2. の二つのクイックリリースピンの挿入位置があります。

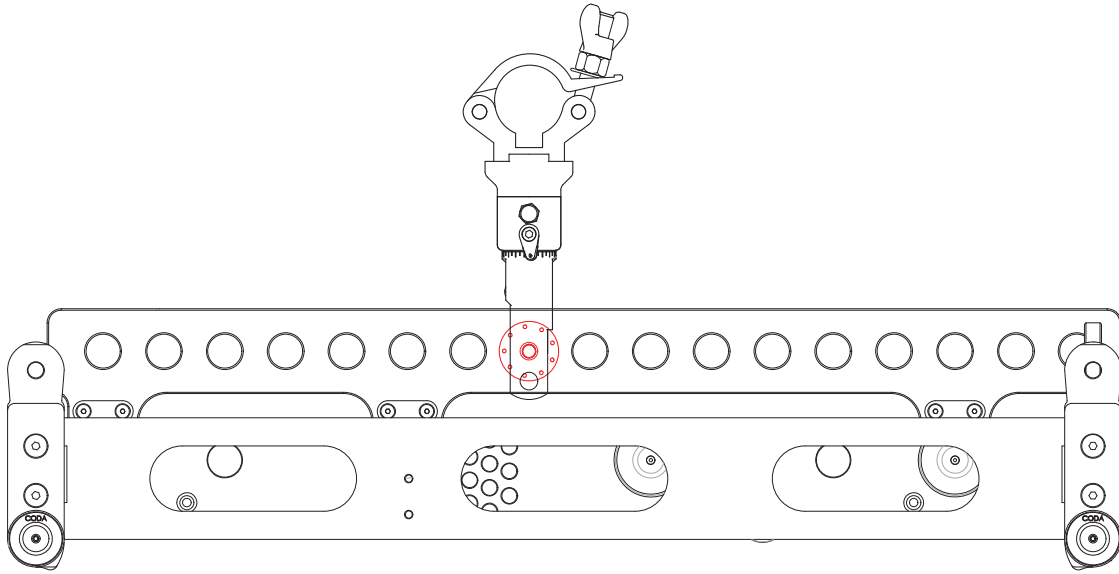


## 2. 組立例（例：FRV-APS）



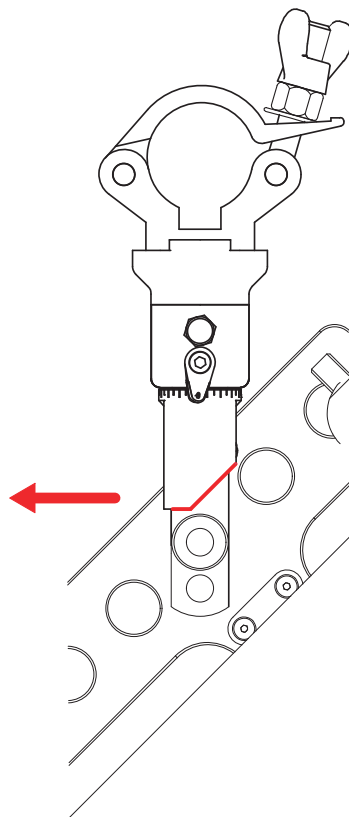
この例では、Vario Clamp を FRV-APS と組み合わせた状態を示しています。ピン挿入位置は“2”です。

### 3. 組立例（例：FR-AR と EXBAR-AR ）



この例では、Vario Clamp を FR-AR,EXBAR-AR と組み合わせた状態を示しています。ピン挿入位置は“1”です。

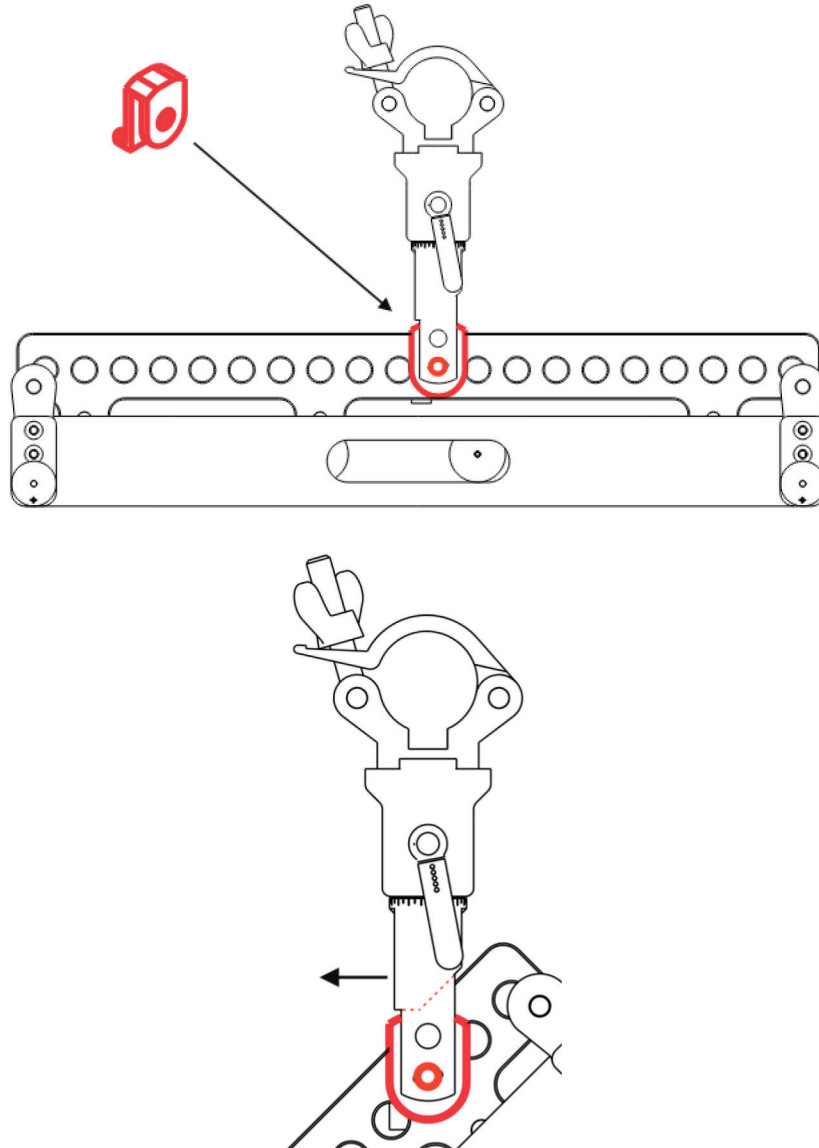
Vario Clamp のピン挿入位置 2. には、幅の狭いスロットが設けられており、EXBAR-AR を水平方向に狙った位置で保持します。



**▲ 注意** 垂直方向により大きいフレーム角度が必要な場合は、アダプターの向きを正しく設定する必要があります。

#### 4. 組立例（例：FR-NR）

Vario Clamp には、ギャップ（隙間）を減らして水平方向に確実に固定するためのアダプターが付属しています。



**⚠ 注意** 垂直方向により大きいフレーム角度が必要な場合は、アダプターの向きを正しく設定する必要があります。

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563  
E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp) <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

202506